

事業報告書（概要版）

施設名	新潟市母子生活支援施設さつき荘	
管理者名	社会福祉法人新潟市社会福祉協議会 所在地 新潟市中央区八千代1丁目3番1号 代表者 会長 関 昭一	
基本方針	母子生活支援施設には、DV被害を受けた利用者をはじめ、多くの課題を抱えた母子が入所しています。入所から退所後の地域での生活を含め、長期にわたり母子を総合的に支援できるよう、利用者である母親の立場を尊重し、信頼関係を構築し、ともに課題を解決していく視点を持ったうえで、子育て、生活支援、就労支援などの支援を行いました。	
運営組織	職員の配置 ・施設長 1名 ・母子指導員 2名 ・少年指導員 1名 ・嘱託医 1名	
業務の実施状況	自立支援計画の策定	入所後2カ月以内に第1回目を実施、その月を起算月とし、6カ月毎にもれなく行ないました。
	利用者の要望意見の吸い上げ	投書箱を設置し、利用者が無記名でも随時、意見を投函できる体制を整備しました。 月1度の母親集会で、要望や意見交換がなされ、運営に反映させました。 「入所のきまり」に関するアンケートおよび中・高校生対象に生活アンケートを行い支援に活かしました。
	苦情・要望に対する対応	地域の主任児童委員2名に委託し、第三者委員として配置しました。 利用者の養育相談に乗ってもらったり、施設との情報交換を行ないました。
	緊急時の対応	多様な緊急時に対応できるよう、対応マニュアルを整備し、職員に周知しました。 不審者侵入時の訓練を年1回実施しました。 ヒヤリ・ハット事例が発生した時には、随時、職員間で情報の共有を行ないました。 裏庭部に防犯カメラを設置しました。
	管理運営経費の縮減	工事や備品購入は、2社以上の見積もり合わせや価格調査を行ない、適正でより安価な業者を利用しました。なお、軽微な修理・修繕は職員が協力して行ないました。 紙類使用量の減量化や不要紙の裏面利用、封筒の再利用など、事務消耗品の節約に努めました。
	防災対策	月1回避難訓練を実施しました。（火災・水害・地震想定）
	個人情報保護	法人の個人情報保護方針を職員に周知徹底し、業務の中で常に個人情報の保護に努めました。
	配置人員	有資格者を3名配置しています。（最低基準では1名）
	配置人員の資質向上	職員の業務内容と研修内容を考慮しながら、研修機会が平等になるよう、配慮し、一人あたり9～12回の研修に参加しました。 職員自ら、専門性向上のため受講したい研修等を探し、積極的に参加するとともに、研修後には、直近の職員会議で報告を行うことで、施設内研修としました。